

い 産 建 第 7 1 2 号
平成 2 0 年 1 0 月 1 7 日

国土交通省道路局長 様

いすみ市長 太田 洋



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のありました標記の件について、別添のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県いすみ市

道路整備の主要な原資となる道路財源については、平成21年度より一般財源化することが閣議決定されたところであるが、市内の道路については、市民生活に密着した国道や生活道路に至るまで、まだまだ多くの道路整備が必要である。そのため、市としては必要な道路整備等の予算が不可欠であるため、今後も道路財源の確保を諮って欲しい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

千葉県いすみ市

○ 現状

いすみ市総合計画において「交流とくらしを支える生活基盤の充実したまち」とテーマに生活・交流基盤の整備を6本の柱の一つとして捉えております。

その中で、当市の道路網は、海岸線を南北に走る国道128号と、内陸部に向け東西に走る国道465号を核として、地域間を連絡する県道などで構成されており、これらの道路が地域経済の活性化に大きく寄与しています。

しかしながら、国道2路線は夏季の交通量増加に伴って交通渋滞が発生するという課題を抱えており、これらの渋滞対策を進めていることが急がれていると同時に、国道128号には歩道が完全に整備されておらず、今後、歩行者の安全対策が急務と考えております。

○ 課題

幹線道路に接続する市道については、改良率が低く地域住民からは早期の整備を要望されているが、財源の面からその要望に、なかなか答えられない状況下にあります。また、国道歩道の整備（再整備を含む）にあたり、バリアフリー化を考慮した拡幅が必要と考えるが、用地確保についても、厳しい状況であると考えております。

今後の道路行政についての意見・提案

② - 2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

千葉県いすみ市

地方にとって経済の活性化を目指す上では、流通の基盤となる道路整備が不可欠と考えており、今後、国道 128 号と並行する地域高規格道路の整備促進や圏央道にアクセスする道路として、国道 465 号や国道 297 号の整備が重要と考えおります。

また、市としては、これらの国道、また県道に接続する幹線市道の整備を行い、いすみ市としての道路網の充実を図らなければならぬと思っております。

なお、これら一連の整備を行なうことにより地方の活力と市民にとって安心、安全な道路が初めて完成するものと捉えております。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

千葉県いすみ市

○ 重点事項 地域活力の向上	○代表事例 国道 128 号の整備と並行し、地域高規格道路、茂原・一宮・大原道路の早期整備と鴨川・大原道路の候補路線からの格上げ	○期待する効果や評価等 夏季観光シーズンを中心とする蔓延的な渋滞解消と歩行者や自転車通行者の安全確保	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	圏央道へのアクセス道である国道 465 号の整備促進	いすみ市内のバイパスを早期完成することによる、県中心部への時間距離の短縮や緊急時の輸送路の確保	
市町村道整備に対する助成	交付金事業の採択枠の拡大	自主財源が厳しい市町村にとって、道路整備等地域間格差が進んでいく傾向であるため、補助金・交付金を各自体に見合った助成に変える等の対応をお願いしたい。 また、大型車両の通行により道路の損傷が多くなっていることから、舗装補修等のメンテナンスに対する補助制度の創設を検討して頂きたい。	